

平成 23 年 10 月  
市民国際プラザ 塚原

## 展示会「東日本大震災における海外からの震災支援」報告

### 【1 開催概要】

目的：東日本大震災の発生後、世界各地から日本へ多くの支援が届けられた。こうした海外からの支援活動の大きな理由の一つに、姉妹都市関係や今までの国際協力での繋がりなどがあったと言える。第 2 回展示会では、「東日本大震災における海外からの震災支援」をテーマとし、今後の日本と世界との繋がり的重要性を考える機会としたい。また、情報共有の場として活用いただき、各自治体・NGO の今後の取り組みに繋げていきたい。

日時：2011 年 9 月 12 日（月）～9 月 29 日（木） 10:00～18:00 （※土日を除く）

※ただし、9 月 9 日（金）の第 2 回勉強会時は、勉強会参加者対象に、特別公開した。

対象：自治体・地域国際化協会関係者、NGO 関係者、一般市民

来場者数：119 名

内訳：自治体 59 名、地域国際化協会 9 名、NGO22 名、その他 29 名

## 【2 展示内容】

以下の内容で震災支援活動の紹介パネルや写真を展示した。また、活動内容が書かれた資料や団体パンフレットも一緒に配置し、来場者に配布した。

### ■世界からの応援メッセージ

[JICA 地球ひろば](#)からお借りした「世界各地から届いた応援メッセージ」のパネルを展示。あまり聞き慣れない国から支援やメッセージが届いていたことに、来訪者も驚いていた。



### ■海外からの自治体への支援の紹介

#### ・台湾からの支援

今回は台湾からの支援を一つのトピックとし、台湾全体からの支援、姉妹都市関係である台南市と仙台市間の支援の取組み、また台湾観光局が実施している『[「台湾希望の旅」プログラム](#)』を紹介した。

※『「台湾希望の旅」プログラム』とは、台湾観光当局が台湾各地のホテルや旅館に呼びかけて、立ち上げたプログラム。岩手県、宮城県、福島県の被災者対象に、計 1000 人を 14 日間の台湾滞在を招待する。参加者は、7月下旬から 11 月末にかけて、数回に分かれて訪問する。

展示資料：[・台湾からの支援概要について \(PDF\)](#)  
[・台南市から仙台市への支援について \(PDF\)](#)  
[・『「台湾希望の旅」プログラム』 \(PDF\)](#)



・ドイツブランデンブルク州/埼玉県による福島県双葉町への支援  
 埼玉県とドイツのブランデンブルク州の姉妹都市関係を活かし、埼玉県内に集団避難している福島県双葉町へ支援の取組みを紹介。その他、ブランデンブルク州経済大臣からのビデオメッセージを上映した。

展示資料：[・ドイツブランデンブルク州/埼玉県から福島県双葉町への震災支援の取組み（PDF）](#)



## ■海外からの日本のNGOを通じた支援

これまでNGOが支援活動を行ってきた途上国から、そのNGOを通じて日本へ様々な支援が届いた。

### <公益社団法人シャンティ国際ボランティア会>

カンボジア・タイ・ミャンマー（ビルマ）にて行われた募金活動や慰霊祭の様子を展示。  
また、日本を応援するためにラオスの子どもたちが描いた絵も展示した。



### <特定非営利活動法人ワールドビジョン・ジャパン>

支援活動をしている世界各国の子どもたちから届いた応援メッセージと写真を展示した。  
また、ワールドビジョン・ジャパンの震災支援活動のパネルも展示。



■その他

- ・全国の災害関連資料「災害対応マニュアルに関する資料」を展示。

